



炬火を掲げていざ謳う

No.29

2022年12月19日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>



# 我々の泉鳥取



30周年記念誌より

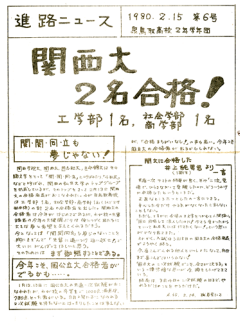
## 哀悼

# 井上純男名誉会長を悼む

本校1期生 長年「同窓会の顔」として活躍



1期生卒業記念品の時計台



→一九八〇年 井上さんの大学合格を伝える三期生進路ニュース

一〇月二七日、ご家族の連絡で大府立泉鳥取高等学校同窓会の初代会長で、名誉会長である井上純男さんが去る一月三十一日、一年半の闘病をへて亡くなられたとの連絡が入りました。

ご家族によると、泉鳥取高校に連絡をしようとも思ったのですが、コロナの件もあり、ひっそりと見送ったとのこと。享年六十三歳、急ぎ足の人生でした。

井上さんは、泉鳥取高校の一期生で、昭和五四（一九七九）年卒業後、関西大学に進学されるとともに、本校初代同窓会長に選出されました。以来令和二（二〇二〇）年に二神勝現会長にバトンをタッチするまで実に四一年にわたって同窓会の顔として、泉鳥取高校を支えてきてくださいました。

泉鳥取高校の周年記念誌での同窓会長の挨拶は、一〇周年から四〇周年まですべて井上さんでした。

また、大学卒業から私立高校（智辯学園和歌山高校）教員としての就職の間には、本校で非常勤講師もしていただきました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

### 二神 勝 同窓会長のメッセージ

井上名誉会長の訃報に接し、ただただ衝撃を受けております。

昭和54年、本校同窓会創設とともに会長に就任され、以来41年間にわたって同窓会をけん引してこられました。令和2年度に同窓会のバトンを受けさせていただきましたが、閉校やそれに伴う同窓会のこれからの運営もいろいろとご相談しようと思っていたところに、残念でなりません。

改めて井上さんに対しまして哀悼の意を表しますとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。



### 橋本敏和校長のメッセージ

井上名誉会長と初めてお会いしたのは、私が教頭として赴任した年の同窓会総会でした。その年に卒業したばかりの後輩を優しいまなざしでみつめられていたのが印象的でした。

昨年の夏に本校の廃校が決定した際にも真っ先に井上さんに報告させていただきました。その際、ぼつりと「残念ですね。」と言われたのが井上さんとの最後の会話となりました。その後、何度かお電話をしましたが連絡が取れず心配をしておりましたが、この度の訃報をお聞きし、驚き戸惑うばかりであります。時を同じくして泉鳥取高校も廃校の道をたどることとなります、在りし日のお姿を偲びつつ、ご冥福をお祈りいたします。

### 1期生が高校生だったころ…

- 昭和51年 ロッキード事件 毛沢東死去 ロシア空軍ミグ25強行着陸、亡命。
- 昭和52年 冒険家の植村直巳さん、単独北極点到達
- 昭和53年 新東京国際空港（成田空港）開港 日中平和友好条約締結